

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：遭家族等援護費

事業名 戦没者追悼事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 管理援護係 電話番号：058-272-1111(内3442)

E-mail : c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,794 千円 (前年度予算額： 7,739 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,739	0	0	0	0	0	0	0	7,739
要求額	6,794	0	0	0	0	0	0	0	6,794
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

日清戦争から太平洋戦争までの間に、戦場において又は空襲などによって犠牲となった本県出身者の方々を慰霊するため、各種追悼事業を行う。

(2) 事業内容

- 岐阜県出身の戦没者追悼式（県戦没者追悼式）の実施
於：岐阜県戦没者慰霊塔（10月）
- 慰霊巡拝等での献花
戦没者遺族が海外の慰霊巡拝に参加する際、現地での献花（知事名）を依頼。
- 戦没者慰霊塔及び旧陸軍墓地の維持管理
- 沖縄及び南方諸地域戦没者追悼式の実施
於：沖縄県糸満市摩文仁の丘 岐阜県慰霊塔（11月）
- 岐阜県戦没者慰霊塔、沖縄慰霊塔、旧陸軍墓地の維持管理

(3) 県負担・補助率の考え方

国家としての戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御靈を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継いでいく。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	50	県追悼式司会者謝礼
旅費	389	全国、沖縄及び南方諸地域戦没者追悼式等への参列旅費
需用費	76	全国追悼式供花代、県追悼式案内状印刷等
役務費	7	県追悼式仮設トイレ汲取料等
委託料	5,962	県追悼式会場等設営業務委託、慰靈塔等の維持管理業務委託
使用料及び賃借料	290	県追悼式音楽隊送迎バス借上料等
負担金	20	千鳥ヶ淵墓苑奉仕会秋季慰靈祭に係る供物・供花料
合計	6,794	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

国の状況：全国戦没者追悼式(8月15日) 太平洋戦争で亡くなった戦没者を悼み、その御靈を慰める。遺族約4,000人が参列。

他県の状況：同様の事業を実施。

(2) 後年度の財政負担

毎年度、予算の範囲内で対応

(3) 事業主体及びその妥当性

国家としての戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御靈を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継いでいく追悼式を県として実施する。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御靈を慰め、また、戦争の記憶を風化させることなく、その悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継いでいく。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

戦没者を追悼し、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくものであり、指標の設定はできない。

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	追悼式の実施などにより、戦没者を悼み、その御靈を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えた。 ・全国戦没者追悼式 令和4年 8月15日（月） 岐阜県遺族8名参加 ・岐阜県戦没者追悼式 令和4年10月21日（金） 参列者 約400名	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
	追悼式の実施などにより、戦没者を悼み、その御靈を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えた。 ・全国戦没者追悼式 令和5年 8月15日（火） 岐阜県遺族3名参加 ・岐阜県戦没者追悼式 令和5年10月20日（金） 参列者 約450名	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 6 年 度	追悼式の実施などにより、戦没者を悼み、その御靈を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えた。 ・全国戦没者追悼式 令和6年 8月15日（木） 岐阜県遺族131名参加 ・岐阜県戦没者追悼式 令和6年10月23日（水） 参列者 約600名	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	追悼式の実施等により、戦没者を悼み、その御靈を慰め、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝えていくことが必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	毎年度戦没者追悼式を挙行し、戦没者の方々を慰靈するとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さを発信している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	各追悼式を年1回実施

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

戦後80年を経過した今、戦争体験や戦争の悲惨さ、平和の尊さについて、風化させることなく次世代に引き継いでいく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
戦没者を悼み、その御靈を慰め、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため、今後も引き続き実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	